

# 一般質問

## 主な質問と答弁

### 藤沢聖苑の残骨灰

#### 含有有価物の売却による財源確保を 来年度から売却実施に向け準備



由美 松長  
市民クラブ  
藤沢

市民理解を得られるか課題があると捉えていた。

**質問** 藤沢聖苑で発生した残骨灰には有価物が含まれており、売却することで市の財源となり、市民のために使われることとなる。市は慎重に議論を進めたいとのことであったが、現時点の考えを聞きたい。また、残骨灰の売却に係る今後の取扱いについて聞きたい。

**答弁** 当初、残骨灰を宗教的感情の対象物とせず、直に売却することについて、調査の結果、残骨灰の売却に対する、遺族や市民からの苦情要望等は総じて無かつたことから、同様に支障は無いものと考えている。また、有害化学物質が含まれる等の環境面の課題については、他市の状況から、資源物、廃棄物を適正に処理することを、入札条件や仕様書において徹底すること、解決できると考えている。



心身の健全な発達とともに、食に関する理解と判断力を養う



耕太郎 村  
産党  
市議員  
藤沢

#### 子どもの健やかな成長のため 学校給食の無償化 速やかに実施に踏み出すべき

**質問** 学校給食は教育活動の一環として行われているものだと考えるが、教育委員会の認識を聞きたい。

**答弁** 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであり、教育活動の一環として行われている。

**質問** 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであり、教育活動の一環として行われている。

**答弁** 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであり、教育活動の一環として行われている。

**質問** 有機農業取組面積の拡大について、現状と今後の課題を聞きたい。

**答弁** 有機農業は、環境負荷が少なく、有機農業の特性から子どもたちが学ぶことも多くあると捉えている。今後は、地産地消と食育

**質問** 片瀬海岸3丁目の津波避難施設整備について、津波からの避難が困難な地域の住民は、早急な避難施設の整備を望んでいると考えるが、今後の方向性や課題について聞きたい。

**答弁** 片瀬海岸3丁目は、片瀬海岸と境川に挟まれた地域で、近隣に津波避難ビ

**質問** 現在の藤沢市津波避難計画は、新たな内容が記載されておらず、市民に適切な情報が伝わらない。早急に最新の情報にアップデートする必要があると考えるが、市の見解を聞きたい。

**答弁** 今年度末を目途として、津波災害警戒区域の指定をはじめ、最新の情報へ

**質問** 国の奨学金返済助成制度を活用し、若者支援と同時に、介護やIT関連などの人材確保につなげるべきと考えるが、市の考えを聞きたい。

**答弁** 将来人口の推計結果を踏まえ、ふじさわまちひと・しごとビジョンに、本市への若者の定着支援を明確化し、奨学金返済助成を活用した幅広い職域にお

**質問** 企業の奨学金返済支援制度も創設されており、経済団体や市内企業に広く周知を図るべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

**答弁** 奨学金の代理返済制度は、税や保険料の取扱いに関し、企業側にも社員側にもメリットがある。採用活動でのPRや定着率の向上も期待されることから、就労者支援、企業の人材不足解消のいずれの観点からも、広く周知することは有効と捉えている。



正人 藤  
市議員  
藤沢

**質問** 不登校は、年々急激ともいえる増加状態にある。要因の把握や対処ができていないのではないかと思うが、取組について聞きたい。

**答弁** 不登校のきっかけや背景などを、教員が理解することが難しい状況もある。教員はスクールカウンセラーなどと連携し、専門的な視点で児童生徒との相談等を通して様子を見立てているが、約3割の子もたちが学校内外での相談支援を受けていないことが大きな課題であると認識している。

**質問** 今年度から校務支援システムを導入し、将来的に教職員の負担軽減となるよう学校と調整しながら、より効果的に活用できるように運用の検討を進めていく。子どもの利益を最優先に

**答弁** 今年度から校務支援システムを導入し、将来的に教職員の負担軽減となるよう学校と調整しながら、より効果的に活用できるように運用の検討を進めていく。子どもの利益を最優先に

**質問** 生物多様性センターやサテライトセンターを開

**答弁** 今後の介護報酬改定に当たっては、これらへの影響を適切に反映するように国に要望する。

**質問** 生物多様性の普及啓発に向けた取組が本格的に始まることだが、本市の未来に向け、子どもたちを対象とした生物多様性の普及啓発をどのように行うのか、市の考えを聞きたい。

**答弁** 藤沢市生物多様性地域戦略では、将来像である生き物の恵みを感じるまち藤沢に向けて、4つの基本

**質問** 市内で生産された有機農産物を学校給食に利用することで、食育、食農教育への反映等、生産と消費にこどもらに将来にわたる効果もあると考えるが、有機農産物の給食利用について、教育委員会の見解及び今後の取組を聞きたい。

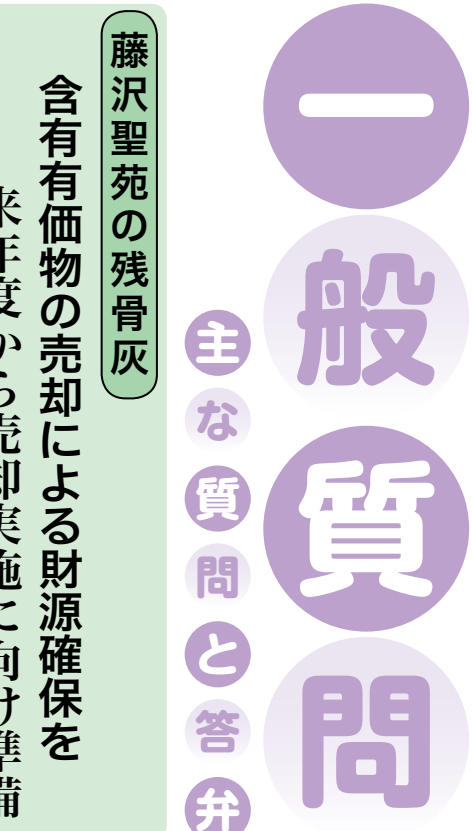
**答弁** 有機農産物の給食での利用については、環境負荷が少なく、有機農業の特性から子どもたちが学ぶことも多くあると捉えている。今後は、地産地消と食育

**質問** ドロップアウトは、脱落・中退・落ちこぼれという意味があるが、自分が進みたいと思っている夢のレールから外れてしまつたことだと考えている。

**答弁** 成育及び支援部門をつなぐ役割を備えた子ども家庭センターを組織し、幼少期からポスト青年期までのトータルサポートを充実する。多様性と包摂性ある社会をポリシーとして、本市が好むと言えらる子ども若者があふれるまちを目指す。

**質問** ドロップアウトは、脱落・中退・落ちこぼれという意味があるが、自分が進みたいと思っている夢のレールから外れてしまつたことだと考えている。

**答弁** 成育及び支援部門をつなぐ役割を備えた子ども家庭センターを組織し、幼少期からポスト青年期までのトータルサポートを充実する。多様性と包摂性ある社会をポリシーとして、本市が好むと言えらる子ども若者があふれるまちを目指す。



市内施設を生かし生物多様性の普及啓発を=長久保公園

**質問** 介護事業所の減収分への補填も含めて支援すべきと思うが、見解を聞きたい。

**答弁** 長引くコロナ禍対策として、新型コロナウイルス感染症に対して国や県が行う、基準緩和や財政支援などの制度活用を周知徹底や相談対応等に取り組み。物価高騰等に対しては、財政的支援を事業所に対して実施している。

**質問** 今後の介護報酬改定に当たっては、これらへの影響を適切に反映するように国に要望する。

**質問** 生物多様性の普及啓発に向けた取組が本格的に始まることだが、本市の未来に向け、子どもたちを対象とした生物多様性の普及啓発をどのように行うのか、市の考えを聞きたい。

**答弁** 藤沢市生物多様性地域戦略では、将来像である生き物の恵みを感じるまち藤沢に向けて、4つの基本

**質問** ドロップアウトは、脱落・中退・落ちこぼれという意味があるが、自分が進みたいと思っている夢のレールから外れてしまつたことだと考えている。

**答弁** 成育及び支援部門をつなぐ役割を備えた子ども家庭センターを組織し、幼少期からポスト青年期までのトータルサポートを充実する。多様性と包摂性ある社会をポリシーとして、本市が好むと言えらる子ども若者があふれるまちを目指す。